

平成28年11月19日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(40回公演)報告

28.11.17 ディサービス美里けいあい 美里町小茂田

「南京玉すだれクラブ」が発足し40回目の記念すべき公演を行いました。

丁度2年8カ月前、学園での卒業を機にクラブを立ち上げ、練習して4カ月後に初めて高齢者施設で公演したのが、今回の「ディサービス美里けいあい」でした。

その間いろいろの事がありました。残った4人が励まし合い、話し合い楽しくやってくれたのも一人一人の努力と絆の結果であり、結果的にはこれが最高のメンバーであったと誰もが受け止めています。

この記念すべき公演では、ここ数カ月4人で知恵を絞って自分達で振付を考え創作した「東京五輪音頭」を初めて人前で披露する事ができました。何十回検討し、練習もしました。これも4人の成果です。嬉しい限りです。何時か皆さんにも見て戴きます。

当日は午前9時30分から「くまびあ」で初公演の「東京五輪音頭」を中心に最終的な仕上げ練習をし、少し早目に切り上げ途中昼食をとり公演先に向かいました。

「ディサービス美里けいあい」での公演は1年ぶりで、今日は祭り半纏スタイルです。

用意してくれた部屋で着替え、2時に職員の方の迎えで会場に向かいました。メンバーの根岸さんの地元であり、あちこちに知り合いの方がおられ、先ずは挨拶していました。

公演は短い挨拶から始まり、「南京玉すだれ」の口上と演技、自己紹介、「玉すだれ」の変形の仕組みのお話をし、「玉すだれ」を直接手に取ってもらうコーナーでは、ニコニコ顔で大きく広げた玉すだれを持ち、職員の撮る写真に収まっていた。皆さん「玉すだれ」を実際手に触れる事が初めてのようでした。「きよしのズンドコ節」まで演技をおこなった後、10分間のティータイムをしました。休憩後、根岸さん担当の健康体操「サザエさん」では、恒例になったエプロンを身に付けた職員の方も交え入所者の皆さんと一緒にやり、特に踊り手に参加した男性職員の「ヘンテコ踊り」に会場は爆笑、愉快的健康体操でした。

最後は本邦初公開の「東京五輪音頭」です。練習、練習の成果が発きされほぼ完璧にできました。アンコールの声に応え「麦畑」もやってみました。

「また来てね～。待ってま～す。」という声を聞きながら会場を後にしました。



